



キャリアの囁き

2022.7.20

【学校教育目標】

時代の変化にしなやかに対応できる力と豊かな心を持ち、たくましく未来を開く生徒の育成

自分事として考える習慣を！

	自分を大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を変えられると思う	自分の国に解決したい社会課題がある	社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している
日本	29.1%	44.8%	60.1%	18.3%	46.4%	27.2%
インド	84.1%	92.0%	95.8%	83.4%	89.1%	83.8%
インドネシア	79.4%	88.0%	97.0%	68.2%	74.6%	79.1%
韓国	49.1%	74.6%	82.2%	39.6%	71.6%	55.0%
ベトナム	65.3%	84.8%	92.4%	47.6%	75.5%	75.3%
中国	89.9%	96.5%	96.0%	65.6%	73.4%	87.7%
イギリス	82.2%	89.8%	91.1%	50.7%	78.0%	74.5%
アメリカ	78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
ドイツ	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%

上のデータは、日本財団が2019年9月下旬から10月上旬にかけて20回目の「18歳意識調査」で、インド、インドネシア、韓国、ベトナム、中国、イギリス、アメリカ、ドイツと日本の17～19歳各1,000人を対象に国や社会に対する意識を聞いた結果です。

この結果、「自分を大人」、「責任ある社会の一員」と考える日本の若者は約30～40%と他国の3分の1から半数近くにとどまり、「将来の夢を持っている」、「国に解決したい社会課題がある」との回答も他国に比べ30%近く低い数字となっています。さらに「自分で国や社会を変えられると思う」人は5人に1人、残る8か国で最も低い韓国の半数以下にとどまりました。国の将来像に関しても聞いたところ「良くなる」という答えはトップの中国（96.2%）の10分の1。途上国、欧米先進国のいずれと比べても数値がすべて最下位という調査結果となっています。「国の役に立ちたいとは思わない」と思っている若者も、9か国中ダントツに多く14.2%もいるのです。

衝撃を受けました。調査対象者が17～19歳なので、中学生の意識とは異なるかもしれませんが、しかし、わずか数年で考え方が大きく変わると思えません。

若者たちがこのような意識を持つということは、いったい何を表しているのでしょうか。生徒の皆さんは、これらの質問に対してどう答えますか。このような結果が出たのは、ひょっとしたら今の社会、大人たちが少なからず影響を与えているのかもしれない。だからといって生徒諸君。自分の考えを、周囲のせいにはいけません。人任せにしているうちは何も変わりませんので。様々なことを自分事として考えるところから、君たちの成長はスタートするのです！

さあ夏休み！自分を見つめる時間を持ちましょう！！

各学年の旅行的行事を通しての成長，市中総体や各種大会での活躍，そして先日行われた合唱コンクールでのすばらしい歌声。それだけでなく，普段の授業に臨む態度や清掃への取組，挨拶等当たり前のことを当たり前にできる生徒が多く，それぞれが充実した生活を送ることができたのではないのでしょうか。

明日から夏休みに入ります。運動部で県大会に出場する人，各種コンクール等に参加する人，駅伝練習を頑張る人もたくさんいますが，ぜひ最善を尽くしてほしいと思います。健闘を祈っています。

さて，「どんな夏休みにしようか」と考えている人も多いかと思いますが，ぜひ夏休み中「自分自身をしっかりと見つめる時間」を作してほしいと思います。そのためには何が必要か。その一つは「たくさんのことを学ぶ」ことです。自分自身でなぜ学ぶことが必要なのかを考えてほしいと思います。基礎的な計算練習や漢字・英単語練習も，どこまでできるようにならないといけないのかという意識があるかないかで，理解度も学習への意欲も違ってきます。部活動を通じて学ぶということもあるでしょう。繰り返しの練習は何のためなのか，走るのは何のためか・・・。そういったことを考えなければ，ただやらされているだけになってしまい，しっかり身に付くこともなく，意欲も減少してしまうことでしょう。

また，ただ机に向かって，学ぶ意味やこれまで学んだことを考えているだけではダメです。しっかりとした学びのためには，今まで授業でやったらそれっきりにしておいたことを，自分で一から復習するというのも良いでしょう。たくさんの本を読むのも良いでしょう。夏休みの部活動や駅伝練習，習い事などに一生懸命取り組むのも良いと思います。大切なことは，自分から行動するということです。

自分を見つめるとは，ただぼんやりと自分のことや将来のことを考えるということではないのです。自分から何かやろうという意欲や目標を持って，一つのことに取り組んでいくことが，自分を見つめるきっかけになるはずですが，3年生であれば，進学先として候補に挙げている学校に直接出かけて行って，話を聞いてきたり，自分の目で学校を見てきたりすることが必要です。学ぶこと，思うことは，自分から行動することから始まります。

もちろん，この1～2年で自分の人生が決まるわけではありません。5年後や10年後，何をしているか，世の中がどうなっているかも分かりません。しかし，どういう人生を歩んでいきたいか，どう生きていくべきであるかは，中学生の皆さんであっても考えられる，いや，考えなければならないことだと思います。そういう力は，何歳になったから身に付くというものではなく，日頃から自分自身を見つめ，自分で考え行動するトレーニングをしていく中で身に付いていくものなのです。それが自分を大切にすることにつながります。そして，自分を大切にすることが，周りの人々を大切にすることにつながるのです。

保護者，地域の皆様におかれましては，子供が家庭や地域に戻る夏休みということ意識し，ぜひ今まで以上の温かい見守りをお願いします。大会等もあり，教職員が全員そろっている日は少ないですが，何かありましたら中学校にご連絡ください。また，学校閉庁期間において何かあった場合は，警察等関係機関や市教委へ連絡をお願いします。

明日から始まる県中総体での活躍，地域での様々なボランティア活動への参加にも期待しています。夏休み明け，生徒の皆さんがまた元気に登校するのを楽しみに待っています。

充実した夏休みを！